

授業名	データサイエンスⅤ アドバンスクラス	学期	2025年度 春学期
担当者			
テーマ	「問題解決型ミッション形式」にて日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)の抱える問題の解決をめざす		
授業の目的	データ分析から価値創造ができる社会の課題解決力の習得を目指す。 データサイエンスⅥ終了時には様々なデータからの統計分析や論理的な思考スキルを身に付け、課題の発見や解決、社会への価値創造につながる仮説を構築する力を習得する。 データサイエンスⅤの目的：「問題解決型ミッション形式」にて社会の課題解決力の習得を目指す。「問題解決」とは「理想の姿」を実現するために「現実とのギャップ」を埋めることである。日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)のデータを活用し、日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)の抱える問題に対してどのように解決を図るのかを、データ分析から仮説を導き出し、さらには解決策の提案まで行う力を身につける。Tableauの演習では複数テーブルの扱いを含むデータの整形および計算式における条件分岐の記述、さらに表計算を活用したビジュアライズを習得する。		
授業の到達目標・DPとの関連性	「データサイエンス」は主観的な判断ではなく、データをもとに意思決定を行うデータドリブンな思考を高めて、社会の課題を解決し、価値を創造していく人材となることを意識して 1. 大学で自ら進んで学ぶ態勢をつくることできる（自分事として問いを立てる力【自灯明】） 2. データサイエンスやAIへの興味関心をもって学び、倫理含めて正しく理解を深めることできる（物事の本質を見極める力【慈悲】） 3. 情報リテラシーと統計の基礎を学びながら、論理的思考力を高め、さらにはExcelやTableauを活用し、データの整理・分析をすることで課題解決につながる課題抽出を行うことできる（根拠にもとづいて思考する力【中道】） 4. 新しいことにも意欲的に取り組み、困難なことにも努力し、新たな価値創造に挑戦することできる（新たな価値を創造する力【共生】） 5. 他者の考えを傾聴した上で、自らの考えを論理的にまとめて発表することができると同時に、他者と協働して活動するとともに、リーダーシップを発揮して、他者との共生を目指すことできる（他者対話し、協働する力【共生】）		
DP参照ページ	https://www.tais.ac.jp/faculty/tais_policy/		
授業形態	講義、個人ワーク、グループワーク ※教員・チューター・SAが、講義・ワークをサポートする。		
テキスト	特に指定なし		
参考文献	授業で扱う内容よりさらに学びを深めたい学生には、以下の資料を勧める。 松島七衣著「Tableauによる最強・最速のデータ可視化テクニック ～データ加工からダッシュボード作成まで」、SHOEISHA、発行年度2019年、3400円＋税（9784798180823） 松島七衣著「Tableauによる最適なダッシュボードの作成と最速のデータ分析テクニック」、SHOEISHA、発行年度2020年、3400円＋税（4798184373） 高橋威知郎著「問題解決のためのデータ分析基礎講座」、ビジネス教育出版社、発行年度2020年、2000円＋税（4828307990）		
評価方法	・毎回ふり返り（リフレクション）（20%） ・授業中に取り組む誓約書、ワークシートや小課題 第1回・2回・7回（10%） ・小テスト 第4回（20%） ・プレゼン評価（50%） - 内訳：第3回 プレゼン用ワークブック、グラフの読み取り（10%） - 第5回 プレゼン用ワークブック、プレゼン骨子（10%） - 第6回 最終プレゼン・発表資料評価（25%）プレゼン自己評価（5%）		
前提科目	データサイエンスⅣ		

授業名	データサイエンスⅤ アドバンスクラス	学期	2025年度 春学期
授業計画	第 1 回 【授 業】 オリエンテーション 授業の目的・目標、概要、授業の進め方、評価などを理解する 社会の課題解決Ⅰ「問題解決型ミッション形式」 ・連携先からのミッション提示と提供される「データ」について ・連携先からのデータに関する秘密保持の誓約書作成と提出 ・問題解決型ミッションの全体の進め方/問題解決のプロセスについて Tableau応用⑥「計算の応用」 ・条件分岐の方法を習得する（IF、ELSEIFなど） Tableau応用⑦「表計算の応用」 ・セカンダリの計算を使用したビューを作成する（パレート図） 【事前学修】 履修要綱やガイダンスで配布した資料を読み直し、カリキュラムの全体像を理解する（2時間） 【事後学修】 第 1 回の授業内容の復習(2時間)		
	第 2 回 【授業】 社会の課題解決Ⅰ「問題解決型ミッション形式」 ・連携先からのデータに関する秘密保持の誓約書作成と提出 社会の課題解決Ⅰ「問題解決型ミッション形式」 ・分析に必要な知識とテクニック基礎① 連携先へのプレゼン準備 個人ワーク① ・プレゼン用ワークブックの作成（1回目） ・ワークブックのグラフからの読み取りの作成 【事前学修】 データ利活用時の契約（秘密保持契約）の復習(2時間) 【事後学修】 第 2 回の授業内容の復習（3時間）		
	第 3 回 【授 業】 社会の課題解決Ⅰ「問題解決型ミッション形式」 ・分析に必要な知識とテクニック基礎② 連携先へのプレゼン準備 個人ワーク② & ピアワーク ・プレゼン用ワークブックの作成と提出（1回目） ・ワークブックのグラフからの読み取りの作成と提出 【事前学修】 連携先から預かったデータについて詳細確認する（2時間） 【事後学修】 指定通りプレゼン用ワークブックを作成し、期日までにtwbxファイルを提出（1回目） ワークブックのグラフから読み取ったことを言語化し、UR-noteに提出（3時間）		
	第 4 回 【授 業】 小テスト（これまでのTableauの学修内容から出題） 社会の課題解決Ⅰ「問題解決型ミッション形式」 ・分析に必要な知識とテクニック基礎③ 連携先へのプレゼン準備 個人ワーク③ ・プレゼン用ワークブックの作成（2回目） ・プレゼンの骨子作成 【事前学修】 プレゼン大会にむけての準備（3時間） 【事後学修】 2 回目の課題提出にむけて、プレゼンシートを作成する（3時間）		

授業名	データサイエンスⅤ アドバンスクラス	学期	2025年度 春学期	
	第5回 【授 業】 Tableau応用⑧「ストーリーの使い方」 ・ストーリーの機能の使い方を学ぶ 社会の課題解決Ⅰ「問題解決型ミッション形式」 ・分析に必要な知識とテクニック基礎④ 連携先へのプレゼン準備 個人ワーク④ & ピアワーク ・プレゼン用ワークブックの作成と提出（2回目） ・プレゼンの骨子作成と提出 【事前学修】 プレゼン大会にむけての準備（2時間） 【事後学修】 指定通りプレゼン用ワークブックを作成し、期日までにtwbxファイルを提出（2回目） プレゼンの骨子を作成し、UR-noteに提出（4時間）			
	第6回 【授 業】 プレゼン大会① 社会の課題解決Ⅰ「問題解決型ミッション形式」 日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)へのプレゼン ・グループごとのプレゼンと相互評価 ・プレゼン自己評価 連携先へのプレゼン準備 個人ワーク⑤ ・プレゼン終了後のプレゼン用ワークブックの見直しと提出（最終提出） 【事前学修】 プレゼン大会にむけての準備（リハーサル）（2時間） 【事後学修】 発表後に最終プレゼン・発表資料の見直しを行った上で期日までにtwbxファイルを最終提出（3時間）			
	第7回 【授 業】 プレゼン大会②（代表者による発表） 社会の課題解決Ⅰ「問題解決型ミッション形式」 日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)へのプレゼン ・代表者によるプレゼンと質疑応答 ・連携先からの講評 / 教員からの総括 データサイエンスⅤのふり取りとまとめ 【事前学修】 データサイエンスⅤの復習（2時間） 【事後学修】 第7回の授業内容の復習(2時間) データサイエンスⅥのシラバスを読んで授業内容に対する理解を深める（1時間）			
統括的な留意事項	・小テストの受験と期末課題（プレゼン用ワークブック）を提出しなければ単位は取得できない。 ・毎回、授業終了時に、授業のふり取り（リフレクション）を提出すること。 ・授業開始時刻の開始20分までに出席登録を完了していない学生は欠席と見なす。			